

# バーチャル雪まつり'97 (Virtual Snow Festival '97)

---

はじめに

それぞれの夢を託して

バーチャル雪まつり (VSF) はインターネット上での雪像のコラボレーションアートプロジェクトです。参加者は、小学生・中学生・高校生、かれらの先生達そして、このプロジェクトに興味をもっているすべての人々です。バーチャル雪まつりは彼らがつくったり、イメージしたものを公開する場合があります。それゆえ、人々はネット上でアイデアをだしあったり、意見を交換したりできるのです。

北国に住んでいる人々のなかには、雪像の作り方を知っているので、実際に雪像づくりに参加するため集まります。冬、雪のあまり降らない地域に住んでいたたり、雪像の作り方を知らない人々も、ネット上で意見やアイディアの交換ができるこのプロジェクトに参加できます。話し合いを通して私たちは雪祭りの行われている2月のはじめに札幌の大通り公園で実際に雪像をつくります。

たとえ、夏であっても雪像のたくさんのイメージを集める事ができるでしょう。いくつかのイメージはペイントされ、他のイメージはデジタルに描かれます。私たちはインターネットやデジタルテクノロジーを使って、雪像について世界規模でリアルタイムに話し合いがもてます。

## 1. バーチャル雪まつりの目標・目的

このプロジェクトの目標・目的は、札幌雪祭りで共同作品をつくりあげること、そしてインターネットを通じて幅広くディスカッションをすることです。

## 2. バーチャル雪まつりへの参加方法

バーチャル雪まつりは、インターネットの電子メール会議室でみんなが自由に話し合いをしながら共同で雪像のアイデアを考えていく参加型のアートフェスティバルです。

さまざまな参加形態

参加の方法は、電子メールで住所、氏名、性別、学校名、学年、参加の抱負をVSF事務局に送るだけです。また、メールアドレスがなくても発言や絵を提案できる会議室もオープンしました。こちらで参加登録をして会議室に参加してください。

インターネットを使えない場合はファックスなどで雪像のアイデアを出すことで参加することも可能です。

### 3．バーチャル雪まつり'97の活動

参加した子供たちは様々な方法でコミュニケーションし、アイデアを練り上げていきました。

(1)電子メールでの意見交換

(2)HomePageの開設

(3)WebBoard ( WWB ) 上での意見交流

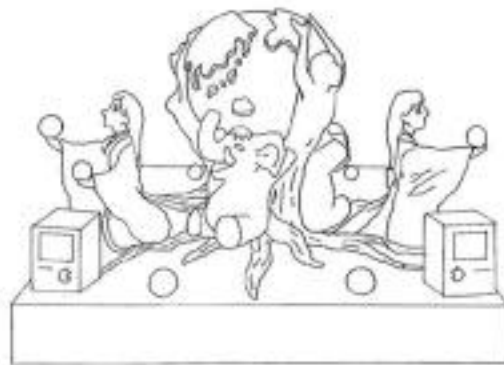
(4)CU-SeeMe ( インターネットの電子会議システムの一つ ) による意見交換

(5)Painter ( コンピュータネットワークを介して共同製作できる作画ソフト ) を使った原画を検討

### 4．バーチャル雪まつり'97の最終案

テーマ：We are the one !

地球上のすべてのものたちが共存し、未来に向けて地球を支えていこうという意味と希望をこめて



作画：北海道札幌新川高等学校1年 牛坂 安希 ( Ushizaka,Aki)

神奈川大学附属高等学校3年 箕輪 真人 ( Minowa,Masahito)

コンピュータやインターネットといった最新技術によって私たちは素晴らしい出会いがありました。しかし、その技術発展の影には自然破壊という大きな犠牲を負っていることを忘れてはならないのです。

この雪像は、「出会い」がテーマです。自然と文明，過去・現代・未来，そしてマンモス，伏姫は時代を越えて，今私たちと出会った訳です。

ネットワークの先には常に人間が存在します。どんなに技術が進歩しても忘れてはならないのは私たち一人一人が8つの玉の意味を再認識して未来への希望を持っていくことだと思うのです。

#### 5．バーチャル雪まつり'97の製作

この最終案をもとに1月末～2月始めに，札幌雪まつり大通会場（大通8丁目・HBC広場）で札幌市内・近郊の小～高校生が実際に製作にあたりました。また，雪まつりには原案を提案した神奈川の高校生も来札し一緒に製作にあたりました。

なお，バーチャル雪まつりの様子は北海道新聞，北海タイムスなどの新聞紙面，HBCのニュース，TBS“ニュース23”の特集などのTVで紹介されました。



ふえる参加校

幼稚園から高校まで幅  
広い年齢層

## 6 . バーチャル雪まつり'97の参加校

- ・造形教室アトリエアイリス
- ・札幌市立開成小学校
- ・熊本大学教育学部附属小学校
- ・東京都北区立赤羽台西小学校
- ・長陽村立長陽西部小学校
- ・札幌市立福井野中学校
- ・札幌市立南が丘中学校
- ・千歳市立青葉中学校
- ・長陽村立長陽中学校
- ・札幌市立発寒中学校
- ・浦河第一中学校
- ・鹿児島県出水郡東町立鷹巣中学校
- ・北海道札幌新川高等学校
- ・神奈川大学附属中・高等学校

## 7 . バーチャル雪まつり'97の参加協賛団体

子供たちの夢は多くの  
人々に支えられて

- ・第48回さっぽろ雪まつり実行委員会
- ・教育とコンピュータ利用研究会（ACE）北海道支部
- ・（株）経営情報センター
- ・ハローねっとジャパン北海道
- ・全国小学生の輪
- ・メディアキッズ
- ・北海道放送
- ・Apple Computer
- ・BUG
- ・NTTDoCoMo北海道
- ・NTTパーソナル北海道
- ・東京インターネット
- ・（株）アステック
- ・（株）ネットファームコミュニケーションズ
- ・（株）エセルテ・ジャパン

おわりに

札幌雪まつりは1949年に札幌の大通り公園で始まりました。最初はそれは小さな雪像でしたが、厳しい北国で暮らす市民の夢と希望を受けどんどんと大きくなっていきました。現在このお祭りは日本だけでなく、世界中で有名になりました。それゆえ、雪像をつくり海外からもたくさんのチームが参加します。雪の多く降らない国や地域の人々に、雪像づくりの楽しさや私たちの北の文化を理解してもらうためです。

子供たちに夢と感動を

教育とコンピュータ利用研究会（ACE）北海道支部のプロジェクトの一つとして1995年9月にスタートしたバーチャル雪まつりプロジェクトも多くの賛同を得て、回を重ねる毎に参加校が増えてきています。私たちを取り巻く社会では新しいメディアとしてのインターネットが浸透しつつあります。これは教育の場においても例外ではありません。21世紀からの留学生である子供たちがこのバーチャル雪まつりプロジェクトで語り合うことのできる夢と希望、そしてここで得ることのできる経験は将来にわたって計り知れないものがあると考えます。

今年もいよいよ札幌雪まつりの準備がスタートしようとしています。バーチャル雪まつりが今年度も子供たちの活発なディスカッション・コラボレーションの場となることを願っています。

資料

ここからVSF'97のホームページを載せましょう！